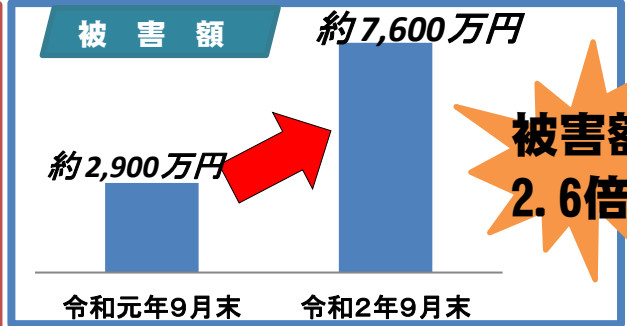
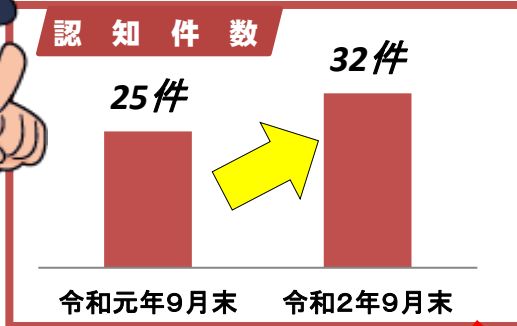


特殊詐欺高額被害激増中！



富山県民のキャッシュカード狙われています！



事件① 金融機関を騙り…

9月、金融機関職員を名乗る男からの「貴方のキャッシュカードは5年間使用したため使えなくなる」「新しいカードを発行するには、現在使っているカードの暗証番号が必要」「今からカードを受け取りに行く」という電話を信じたAさんは、キャッシュカード4枚の暗証番号を教えた。

しばらくして自宅を訪れた男にカードを手渡した。翌日、金融機関に問い合わせたところ被害が発覚し、多額の現金が引き出されていた。

被害額 数百万円！

事件② 警察官を騙り…

9月、署員を名乗る男からの「逮捕された犯人が持っていた名簿に貴方の名前が載っていた」「犯人を捕まえるためにキャッシュカードを止めて、封印する必要がある」という電話を信じたBさんは、キャッシュカード4枚の金融機関名と暗証番号を伝えてしまった。

自宅に来た署員を名乗る男はカードを封筒に入れ、「封印には印鑑が必要」などと言い、Bさんが印鑑を取りに行っている隙に別のカードにすり替えて盗んだ。後日、多額の現金が引き出されていたことが発覚した。

被害額 約890万円！

被害防止の三箇条

一. 「電話」を見直すべし。

まず第一に、犯人からの電話を受けないこと！

通話録音装置の設置や留守番電話設定、ナンバーディスプレイ機能を活用して詐欺電話を撃退！

二. 「ATM利用限度額」を見直すべし。

万が一、キャッシュカードを騙し取られても利用限度額を下げておけば出金・振込できず預金を死守！その前に、キャッシュカードは他人に渡さない！暗証番号は絶対に教えない！

三. すぐに「相談」すべし。

相手の話を鵜呑みにしない！お金に関する電話等あれば、まずは家族や警察に相談！

